

第44回 Osaka スノー祭典 in 志賀高原

日程 2月10日(木) 昼/夜発

～13日(日) 夜帰阪

宿泊 一の瀬スキー場 ホテル山楽

長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一ノ瀬

TEL(0269)34-2217

出発場所 A JR玉造駅前 B 阪急水無瀬駅

参加費 昼発¥43000-夜発¥40000-

問い合わせ 大阪スキー協 担当玉井

TEL 090-9863-7737(22時まで)

大阪スキー協通信 No411

大阪府勤労者スキー協議会発行責任者 赤木 徹郎
〒537-0024 大阪市東成区東小橋 1-7-15 栄ビル 2F

TEL06-6753-7121 FAX06-6753-7128

メール★ 961skiy460@gmail.com★ yqk04665@nifty.ne.jp

ホーム P★ osakaskikyou.wix.com/osakaskikyou

「大阪府勤労者スキー協議会」 ←検索

2022年は大きな力と繋がいで飛躍のシーズンに!!

新年おめでとうございます。昨シーズンはコロナ禍で、スノー祭典の中止、各クラブの行事の中止とスキーヤーにとっては「動けない・滑れない」と活動に大きな影響が出ました。大阪スキー協総会も延長し、8月に開催することになりました。この間のコロナ禍における各クラブの運営・活動に対し工夫をしながら行われていることに感謝いたします。今シーズン、コロナの影響は現在減少しているように見えますが、新しいオミクロン株の流行など先行きは不透明な状況です。総会では状況に応じた活動を工夫しながら、大いに活動をしていこうと方針を立てました。感染拡大に注意しながら旺盛な活動と希望を持ちながら行うことが大切だと確信しています。今年のスノー祭典は申し込みが早々に来るなど変化も出てきています。また指導員会議などにおいても活発な論議が行われ、指導員が協力して会員と繋がり、元気を出していこうという「大きな力・繋がり」が感じられました。この力や繋がりを、クラブにおいてより一層広めていこうではありませんか。

最近スキー協への問い合わせが、ホームページなどからという案件が増加してきています。また祭典での入会やお友達の入会も出てきていますが、高齢化などでクラブ数や会員も減少してきています。スキー協には素晴らしい「スキー教程」があります。そして、何よりひとりぼっちのスキーヤーに声をかけ、安全で「楽しく・早く・うまく」という情熱を掲げて取り組んでいます。この気持ちを会長として率先して会員さんと共に取り組みたいと思っています。

今シーズン祭典をはじめクラブ合同行事や各クラブ行事で会えることを楽しみにしています。

みなさん今シーズン事故怪我のないように大いにスノースポーツを楽しみましょう。

大阪スキー協会長 赤木 徹郎



2021年は各クラブの行事が中止、自粛となり、クラブの有志での企画で終始することとなりました。そんな中スキー協の外でもスキーがやりたいと言うスキーヤーの魂の叫びが見え始めています。大阪スキー協参加のクラブの中でホームページを開設しているのは4クラブです。大阪スキー協と4クラブのHPに参加の申し込みや問い合わせが相次ぎクラブ外に多くのスキー辞めた元スキーヤーの魂の火が「焼け木杭に火が付く」が如くスキーへの要求が湧いているのではないのでしょうか。各クラブ員の皆さん多くのひとに声を掛けてそれに答えて行きましょう。

*大阪スキー協の 2022 年シーズンは関ブロから



12月16日(木)大阪スキー協シーズンの始まりをつげる志賀高原での関西ブロック初すべり行事「レベルアップ・指導員養成・研修会」向かってスキーバスが14時に玉造を出発しました。参加者の車で負担を避ける為に前回から大阪スキー協はバスをだしています。今回は京都スキー協の人を誘い参加者は27名(大阪19名京都8名)。関西ブロックの12月と4月の行事に貸切バスで参加者の車負担を軽減するため今後も続けたいと思っています。定着のきっかけとなればと長距離バス移動グッズが参加

者の二人に一人が当たる即席抽選会を多賀休憩のあとに行いました。景品は社内移動用スリッパ、枕、ひざ掛け、アイマスクなどです。皆さんに喜んで頂けたと思います。水無瀬と京都に経由になった為に、到着時間が遅れましたが楽しいバスになりました。次の日は雪で斜面は深雪最高のコンディションでした。近年雪不足が続く中での初滑りだったので雪は大歓迎！すごく満足していました。今回の関ブロは参加者62名大阪から林さんの息子さんを含めて33名コロナ禍、近年の雪不足等大変な中、大勢参加いただきました。8名の講師スタッフの皆さまありがとうございました。



小原 四郎(島本 SC)

指導員養成に参加して！

今回で三度目の参加です。養成コースは全員で3名。私的には出来は最悪でした。3日間とも体の遅れとお尻が下がっていると指摘を受けました。どうすればいいかわからず、それなりに試みるも同じことが指摘されました。こんな重たいスキーは初めてです。辞めたい気持ちで満たされていますが、参加したクラブのメンバーからは連日叱咤激励!?「4月検定会にはクラブから検定会応援ツアー出そう」と後押しされて、下がったお尻を持ち上げてレベルアップしたいと思います。よろしくお願いします。

今回で三度目の参加です。養成コースは全員で3名。私的には出来は最悪でした。3日間とも体の遅れとお尻が下がっていると指摘を受けました。どうすればいいかわからず、それなりに試みるも同じことが指摘されました。こんな重たいスキーは初めてです。辞めたい気持ちで満たされていますが、参加したクラブのメンバーからは連日叱咤激励!?「4月検定会にはクラブから検定会応援ツアー出そう」と後押しされて、下がったお尻を持ち上げてレベルアップしたいと思います。よろしくお願いします。



藤原英士 (エコーSC)



徳島からリフレッシュとレベルアップを求めて！



関西ブロックレベアップ、初滑りに初めて参加しました。エコーSCの割石といいます。徳島県に在住しています。志賀高原は、積雪量も多く寒波の厳しさも堪能することができました。昨シーズンは県外にでることもできずストレスがたまる日が続きましたが、2年ぶりの志賀高原スキーで皆様とご一緒でき、リフレッシュとレベルアップすることが出来ました。レベルアップコースに入り講習では山中コーチに丁寧な指導を頂きありがとうございました。教わった技術を少しでも身につけるようにがんばります。3日間お世話になりました。

割石 一志(エコーSC)



指導員研修の赤木班で講習を受けました。今回は得られることが多かったです。自分なりに教程本をかなり読みこんだつもりで、学んだ事が体に入ってきました。2日目は、私のレベル以上の雪が降り、宿に戻り自主座学や講習班での座学を行い、教わった事を整理。これからも指導員として頑張っていきたいです。

松本 佳子 (島本 SC)

今回は、池田講師の班で研修。教程を中心にいろいろなバリエーションを取り入れて頂き楽しく、分かりやすい（できるかは別にして）レッスンでした。今後も教わった事を練習し、指導する際に活かしていきたいです。関西ブロックの楽しみは他府県の方達との交流です。講習中も滑り以外の話ができたり、宿では深く交流は出来ませんでした。が、「久しぶり」「元気にしてる？」など声掛け合う事ができ良かったです。

玉井 はるみ(森の宮 SC)



習得は出来た!!2021 中央研修会に参加して

2021年12月4日(土)～5日(日)志賀高原熊の湯と横手山で全国スキー協研修会に、受講者として参加しました。(大阪からは講師も含め5名の参加)池田上級指導員(滋賀)班に参加

スキー技術では、『切り替え技術を学ぼう』と題し、重要ポイントとして



- ① ターンは、足元から動く！切り替える！
- ② 足裏が確実に切り替える！

私が、以前から感じていた山回りの外向傾を引っ張り過ぎるのではなく、切り替えからの谷回りの重要性を感じました。また、スキーを身体の真下(基本姿勢)に戻し、足裏を確実に切り替える！という事の考えを理解出来ました。

以上の事は、今シーズンにおいて、関西ブロック、大阪スキー協、そしてクラブ行事の指導に当たって役立てたいと思います。また、コロナ禍での研修会であり、事前にHP等による理論研修として、『スキー協の活動』、『スキー技術と指導法』、『スキー事故の予防と対応』、『指導員規程の理解』について動画配信され、一定の習得が出来ました。

大久保 正二 (森の宮 SC)





スノー祭典盛況のうちに定員に達しました。

ありがとうございました!!



2022年第44回 Osaka スノー祭典ですが、チラシに掲載しました定員 60 名を早くに達成し、ホテル山楽さんから追加の部屋を用意して頂きましたが、12月20日の時点で定員 72 名に到達。いつもなら 1 月末の締切を過ぎても参加者を募っていた状況との違いに嬉しい悲鳴です。一般参加者 18 名・祭典初参加者 16 名、8 才から 82 才までの幅広い年齢層。これまで



に、戸惑いながらも、ケガなく・楽しい祭典になるように実行委員一同いろいろ企画を考えていますので、皆様のご協力よろしくお願い致します。これから申込みの方にはキャンセル待ちとなりますのでご了承下さい。

祭典事務局：玉井 はるみ

△ 参加されるみなさん！志賀高原で祭典をご一緒に楽しみましょう!!

「新日本スポーツ連盟と日本勤労者山岳連盟、政府に要望 !!」

12月20日、新日本スポーツ連盟と日本勤労者山岳連盟（労山）は連名で「2022年度スポーツ関連予算案と国のスポーツ振興策への質問と要望」をスポーツ庁に提出しました。今回、新スポ・労山から役員・関係者 11 名、スポーツ庁をはじめ関連省庁（環境省、林野庁、警察庁）から担当者 11 名が集まりました。

スポーツ庁への要請文書では、「公共スポーツ施設の新設、改修への予算増額」「任意のスポーツ団体の活動を活性化させるための制度の構築」「公共スポーツ施設を請け負う民間団体の権限の抑制と、地方自治体による運営の促進」「統廃合により取り壊しが予定される公共施設の存続」「山小屋への支援や山岳環境（登山道など）の整備」などを要望しました。

この質問と要望について担当者からの回答があり、それに対して新スポ・労山からいくつか再質問を行うなどして、約 1 時間、意見交換が行われました。 12/21 新日本スポーツ連盟 Facebook より



スキーメイト No. 191 に大阪スキー協からの記事が掲載されています。
「スキークラブはスキーしてなんぼ!! クラブの魅力とは!？」
*新規購読通常の手頃
キャンペーン中年間 1,000 円